

小金井市障害者福祉センター事業報告

はじめに

日帰り旅行は、高尾山・動物園・BBQ・都営荒川線巡り・水上バスツアーを企画し、楽しい時間を過ごすことができました。利用者の希望を元に少人数での楽しみを企画できました。夏は、7月中旬から9月中旬までプール活動を行い、天気の良い日は、ほぼ毎日交代でプールを利用し、利用者に大人気の活動となっています。10月の開所記念キャンペーン週間は、模擬店を実施しました。焼きそば・焼き鳥・豚汁・フランクフルトなどの食材を用意し、障害者センターの利用者さんだけでなく、配食サービスを利用されている事業所の方もお招きして、楽しいひと時を過ごしました。今年、食事に関してJA東京むさしと連携して、小金井市の野菜を取り入れたメニュー（地産、地消）に取り組みました。（小金井の農家さんは、環境問題を踏まえて極力農薬を使用しない野菜作りを目指しているとの事）

利用者の活動として、初めて夏祭りを実施しました。各グループで金魚すくい・射的・チョコバナナ等の出店を出して、去りゆく夏のひと時の思い出としました。日常の活動とは違う取り組みに、利用者の笑顔がたくさん見られました。

1. 総括

福祉人材の確保は、厳しい状況にあり、対応に苦慮した。十分な組織づくりができる状況には至りませんでした。施設の貸し出しにおいては、例年とほぼ同じ貸し出しとなりました。虐待防止委員会およびリスクマネジメント委員会に置いて、利用者への関わりは丁寧だが、呼称等においての乱れが指摘され、改善を目指した取り組みを次年度の課題とします。また、危機管理に関するマニュアルの整備の必要性を指摘され、防災・災害・防犯のマニュアルの整備を次年度の課題として進める必要があします。

2. 平成28年度の掲げた重点目標の達成について

障害者福祉センター

重点目標（課題）	成果と課題
平成28年度末に「生活介護事業」を担当する3名の職員体制の変化が予想されており、早い段階から職員の補充を計画し、平成29年早々には次年度の支援体制の整備を完了し、繊細で配慮ある支援が提供できる体制、活動中の不測の事態に対応できる環境の整備を実施し、利用者および職員に「安心」を提供できる組織づくりを行います。	「生活介護」職員の補充はほぼ予定通り進み、29年度の人的体制は整備できました。同時に利用者サービスの視点から事業（生活介護・自立訓練・地域関連事業）ごとに主任を配置し所長・副所長と連携して情報共有できる仕組みを構築、支援会議等を定例的に開催し運営する体制を整備し、チームとしての連携を強化し利用者に安心して利用できる体制を作りました。今後は組織を形骸化することなく、事業運営することが課題となります。
小金井市の福祉会館が平成28年3月31日を持って閉鎖される影響により障害者団体が利	利用申込出来る期間を3ヶ月前とし、希望する方の申し込みの公平性を担保しました。

<p>用できる公的貸出施設が当センターのみとなります。そのため従来までの予約申請の流れや利用方法を一新し、その影響を最小限に抑える対応を行います。</p>	<p>平成28年度の施設貸し出し数は、前年と比べて微減で、大きな影響は見られず、延べ人数で5000人を超える利用は、貸し出しの役割を十分に担っているといえます。</p>
<p>「虐待防止委員会」や「リスクマネジメント委員会」の活動を通じて「差別解消法」に対応する事業所としての責務や法人研修や交換研修を通じて、時代に即した事業のあり方を意識でき実現できる人材を育成できる組織を作り上げます。</p>	<p>支援員会議で接遇チェックリスト集計に基づく支援内容の振り返りを行いました。呼称や態度など改善を必要とする点が見られるが、利用者への関わりは丁寧で、虐待というレベルではない。呼称の乱れへの取り組みは、次年度の課題であります。また、危機管理に関する事項の整備と整理も次年度の課題であります。</p>
<p>法人による「グループホーム推進委員会」と連携し、グループホームの開設に向けた取り組みを行います。</p>	<p>小金井市でのグループホームの建設は、用地が見つからず、清瀬市で進める事になったが、保護者のグループホームへの希望は大きく、仕切り直す必要がある。</p>

障害者地域生活自立支援センター

重点目標	成果と課題
<p>1. 平成28年度より地域自立支援協議会の事務局運営を受託する予定であり、業務が飛躍的に増大する。また、基幹相談支援事業所として、計画相談、地域移行、地域定着、虐待防止、地域生活支援事業などの通常業務の他「差別解消法」の相談窓口も担当となることから、総合相談窓口としての取り組みの充実をソフト、ハード面で実施していきます。</p>	<p>4月より事務局運営を担当し、各委員との連絡調整や議事録・資料作成など業務を行って、役割を果たしてきました。</p> <p>総合相談窓口業務に関しては、十分な対応ができていないのが現状です。次年度に相談内容を分析、業務の担当の検討などを行い、相談窓口の充実に取り組みます。</p>
<p>2. 地域生活支援の支援力向上のため、地域自立支援協議会等との連携を密にし、「相談支援」「生涯発達」「生活支援」の視点から社会資源の充実につながる取り組みを行います。</p>	<p>事務局を担っているため地域自立支援協議会等との連携は非常に強い。「相談支援」「生涯発達」「生活支援」それぞれの専門部会での共通取り組みとして、差別解消法に関する小金井市条例の制定に向けた取り組みを実施し、市民向けの意見交換会を2度実施しました。</p>
<p>3. 障害別相談における複数の相談場所、相談曜日、相談方法を設定し、利用者の利便性に配慮する対応を継続して実施いたします。また、相談員全</p>	<p>市役所の相談室、児童発達支援センターの相談室を活用しての複数の相談場所の設定し、土曜日にも相談を実施しました。</p> <p>外部講師の勉強会は実施でき真線でしたが、相談</p>

員を対象とした外部講師による勉強会を企画し、障害別相談の機能を高めます。	員全員による意見交換会を実施し、障害別の相談内容の情報共有や相談者の悩み等共有することができました。この結果を今後の事業に生かすことを検討します。
4. 平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行されることに伴って、小金井市の自立支援協議会と連携した啓発運動を、近隣の大学をはじめとした高等教育機関や市内の小中学校と協働して取り組んでいきます。	相模原の事件が発生したことにより、啓発に関しては、小金井市や自立支援協議会において行った。分かりやすいパンフレットを作成し、協議会委員を介して理解を深める取り組み、障害者週間において「障害者差別解消法」の説明会を実施しました。教育機関との協働した取り組みは実施できなかった。
5. 障害者週間の周年イベント（ア実行委員会方式の設立 イ障害者週間ポスター展の実施、特別企画の実施等）を自立支援協議会と連携の上実施します。	12月に「障害者差別解消法」の施行に伴う「小金井市条例」の制定に向けたシンポジウムを地域自立支援協議会と共に開催しました。条例制定に関しては来年度も継続した取り組みです。

3. 利用実績（利用延べ人数）

別紙参照

4. 年間通所者の状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

障害者福祉センター

	男性	女性	計
男女内訳	18 名	19 (18) 名	37 (36) 名
平均年齢	31.2 歳	34.5 歳	32.9 歳
平均支援区分	5.06	5.16	5.11
度平均在所期間	10 年 5 月	14 年 7 月	12 年 6 月
年間延利用人数	3929 名	3966 名	7895 名

※機能訓練は支援区分がない利用者もいるため除く

平成 28 年 11 月 女性 1 名退所（他市の GH を利用のため）

5 職種別職員数(平成 28 年 3 月 31 日現在)

障害者福祉センター

	常勤	非常勤	常勤換算	パート	常勤換算	職員数	常勤換算計
施設管理者	1	1	0.3			2	1.3
生活相談	3					3	3
事務員	1	1	0.45			2	1.45
生活支援員	7	7	6.13			14	13.13
看護師	1	1	0.45			2	1.45
准看護師							
理学療法士		1	0.3			1	0.3
作業療法士		1	0.3			1	0.3
言語療法士		1	0.3			1	0.3
栄養士	1					1	1
調理員		2	1.5			2	1.5
運転手		1	0.9			1	0.9
清掃員							
洗濯員							
医師							
その他		3	2.25	2	0.6	5	2.85
合計	14	19	12.88	2	0.6	35	27.48
昨年度	14	19	12.88	2	0.6	35	27.48

地域生活自立センター

	常勤	非常勤	常勤換算	パート	常勤換算	職員数	常勤換算計
生活相談	2	2				4	
昨年度	4	1				5	

※常勤職員のうち1名は福祉センター所長及び管理者兼務です。また平成 28 年度は年度途中で常勤 2 名が退職し、年度末まで補充できなかった。

6 ボランティアの内容と人数

内容	日数	人数	備考
作業ボラ	97	200	登録 4 名 付録作業
機能訓練	87	172	登録 1 6 名 機能訓練活動
環境整備	172	172	樹木剪定・清掃・花壇整備
合計	356	544	

7. 事故報告

種別	件数	内容と対応
関係機関報告事故	0件	関係機関に報告する大きな事故はなかった
施設対応事故	1件	服薬関係2件、誤嚥3件、その他13件 薬は、中止薬の対応不備、1錠落ちていた。誤嚥はソースを飲む、食べる形状不適切。その他で他害：4針縫合、食器洗浄機の電源切り忘れ（警報の未発）
ヒヤリハット報告	498件	利用者の不安定な状況による軽微な自傷等が多く報告される。

8. 苦情

苦情は以下のとおりで、申し立て者には謝罪をし、改善に取り組んだ。

職員対応	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・日帰り旅行の予定変更の連絡がなかった。 ・他害事故の連絡で利用者でもある「加害者」名を明かした。 ・緊急一時保護の申し込みが担当者に伝わっていない。 ・計画相談の聴き取り時、本人同席を家族に連絡しなかった。 	<p>他害事故に関しては、大きな事故なので「加害者」を家族に伝える必要ありと判断したが、伝え方については配慮が必要なので、「被害者」、「加害者」への連絡について事業所としてのマニュアルを検討する。</p> <p>連絡ミスについても、連絡体制を検討し、再発防止に取り組む。</p>
送迎	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎バスの座席の位置が違う。 ・普段と異なる場所に停車し10分待ったが利用者が現れず、家族とも連絡が取れず、通過した。 	<p>送迎を行う前に、乗降場所、座席等の確認を必ず行い、メンバーが変更になっても、確実に乗降を行うことを徹底する。</p> <p>通過の件は、利用者は2時間も普段の乗降場所にいたことが、家族からの連絡でわかり、迎えに行き、健康状態とも異常がなかったが、事故でもあり再発防止を検討した。</p>
喫茶コーナー	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶コーナーに漂白物が放置されていた。 ・たくさん注文するとぬるい者が来るなど。 	指摘の改善を行う。
その他	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇の水やりが不十分で花が枯れた。 	水やりはおこなっていたが、房花の状況を観察し行えていなかったことを反省し、園芸ボランティアの信頼を回復する。

10. 第三者評価結果について（※全体結果が届いていないので家族調査の速報）

※生活介護家族調査（36名中19名回答）

@職員は、丁寧に対応してくれていると思いますか。（はい：100%）

@支援計画作成時に利用者本人の状況や本人・家族の要望を十分に理解してくれましたか（はい：100%）

@日常的に本人の意思を尊重するような問いかけがされていると思いますか。
（はい：84% わからない：16%）

▽施設に対して不満や要望を感じることがありますか。
（はい：37% いいえ：53% わからない：10%）

※生活介護利用者調査（36名中20名回答）

@あなたが困った時、職員は助けてくれますか。

（はい：90% どちらともいえない：5% 無回答：5%）

▽あなたが困った時に、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか。

（はい：35% どちらともいえない：10% 無回答：55%）

※自立訓練利用者調査（8名中8名）

@あなたが困った時、職員は助けてくれますか

（はい：100%）

▽利用者同士のいさかいやいじめ等があった場合の、職員の対応は信頼できますか
（はい：38% どちらともいえない：13% いいえ：0% 無回答：50%）

<良いと思う点>

- ・職員一人一人は、職場での取り組みにとっても誠実だと思う。
- ・問題が起こった際、改善する姿勢、対応の迅速さ

<改善したいと思う点>

- ・防災意識（車椅子対応など）が低い
- ・職員補充を早めに行ってほしい

別紙：利用実績

平成 28 年度事業別年間集計														小金井市障害者福祉センター
事業/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年 間	
生活介護	668	637	732	654	687	649	658	644	627	617	635	697	7905	
創作的活動	書道	0	8	8	0	0	0	5	0	0	0	0	21	
	絵画	94	153	148	92	242	159	164	105	86	159	87	126	1615
	園芸	80	61	61	112	26	7	27	9	19	49	0	0	451
	革細工	69	60	64	37	18	90	94	68	86	7	19	16	628
	工作	20	19	22	96	22	20	18	20	19	6	0	7	269
	合計	263	301	303	337	308	276	308	202	210	221	106	149	2984
相談事業	利用	82	151	63	59	144	64	5	1	2	6	91	66	734
	福祉	0	2	1	0	1	2	1	1	2	3	3	3	19
	生活	76	47	40	43	49	49	7	0	8	8	30	32	389
	医療	8	3	5	4	4	3	5	1	10	3	11	12	69
	機能	28	21	32	33	46	25	1	3	0	0	2	9	200
	合計	194	224	141	139	244	143	19	6	22	20	137	122	1411
自立訓練	PT	25	17	24	22	32	23	38	26	33	28	27	31	326
	OT	23	22	23	25	14	23	23	15	24	10	8	12	222
	ST	4	6	12	8	9	3	4	5	3	5	6	4	69
	合計	52	45	59	55	55	49	65	46	60	43	41	47	617
入浴	22	23	21	20	21	22	14	17	13	16	14	12	215	
緊急一時	昼間	12	21	10	11	12	9	13	13	12	9	10	13	145
	宿泊	23	15	26	29	35	35	17	26	28	15	16	29	294
	合計	35	36	36	40	47	44	30	39	40	24	26	42	439
給食サービス	生活介護	639	567	694	624	652	628	599	594	606	585	611	678	7477
	入浴・訓練	35	32	36	40	34	37	25	19	40	23	20	27	368
	職員	239	229	247	223	204	186	199	194	195	172	183	172	2443
	配食	1523	1390	1682	1480	1504	1522	1462	1457	1447	1471	1531	1621	18090
	一般	46	40	55	42	58	40	34	39	56	32	62	84	588
	合計	2482	2258	2714	2409	2452	2413	2319	2303	2344	2283	2407	2582	28966

講習・講座 (手話・創作)	昼初級	12	36	33	46	21	31	34	44	34	31	35	20	377
	昼中級	15	41	37	52	25	36	12	50	37	36	35	23	399
	夜初級	9	21	22	29	12	19	15	24	18	16	19	14	218
	夜中級	12	41	37	43	20	30	31	37	25	28	18	22	344
	上養	20	37	33	37	14	31	39	30	17	26	24	18	326
	その他	49	66	65	33	7	69	49	44	36	39	42	18	517
	合計	117	242	227	240	99	216	180	229	167	176	173	115	2181
	2Fロビー	20	12	13	16	38	18	12	15	34	14	12	12	216
	社適	206	262	151	273	160	208	138	163	142	138	210	233	2284
	食堂	351	192	432	295	82	163	194	186	169	236	65	280	2645
	その他	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	合計	577	466	596	594	280	389	344	364	345	388	287	525	5155
ボランティア	65	59	66	58	46	52	45	31	36	14	48	31	551	
見学	6	2	23	4	7	20	186	15	14	0	0	9	286	
実習受入	0	2	20	3	0	28	20	40	19	7	25	12	176	
送迎バス	1061	985	1167	1161	1150	1083	1036	1092	1022	1067	991	1139	12954	
総 合	5542	5280	6105	5714	5396	5384	5224	5028	4919	4876	4890	5473	63554	

※創作活動の支援内容変更のため、数値差異があります。

※手芸の活動を追加しています。また、音楽活動を充実させ、全体音楽・グループ毎の音楽やダンスなどバリエーションを増やしました。

施設貸し出し

2F ロビー	20	12	13	16	38	18	12	15	34	14	12	12	216
社適	206	262	151	273	160	208	138	163	142	138	210	233	2284
食堂	351	192	432	295	82	163	194	186	169	236	65	280	2645
その他	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
合計	577	466	596	594	280	389	344	364	345	388	287	525	5155

平成 28 年度実績

月別支援動向

(単位:件)

支援内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホームヘルパー・ショートステイ等の 利用援助	122	137	184	167	162	163	147	161	194	129	142	149	1,857
社会資源を活用する為の支援	142	332	280	287	290	319	305	257	285	260	271	314	3,342
社会生活力を高めるための支援	189	425	465	497	658	659	743	443	639	553	559	637	6,467
ピアカウンセリング	8	8	8	8	10	8	8	10	8	8	8	6	98
合 計	461	902	937	959	1120	1149	1203	871	1126	950	980	1106	11,764

利用者別・月別利用動向

(単位:件)

利用者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
肢体不自由	16	14	13	14	14	13	10	13	9	10	34	17	177
視覚障害	5	4	8	7	19	13	13	5	8	14	24	5	125
聴覚言語障害	19	16	19	10	17	22	20	18	15	15	24	14	209
内部障害	2	1	4	4	5	5	4	3	3	3	5	4	43
重度心身障害	1	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	5
知的障害	34	28	42	60	45	43	39	39	44	36	39	56	505
こころの悩み	8	6	7	9	12	16	12	6	7	11	12	16	122
発達障害	35	10	10	15	6	6	14	11	24	15	21	30	197
高次脳機能障害	16	1	0	3	3	0	4	0	1	3	2	2	35
難病	3	0	0	2	4	0	3	0	1	3	3	3	22
家族・関係機関	201	263	222	264	245	279	351	233	261	215	238	342	3,114
その他	24	12	4	1	3	0	2	1	51	0	1	0	99
合 計	364	355	329	392	373	397	472	329	424	326	403	489	4,653